

認知症、でも大丈夫



講演

平成29年6月2日(金)

13時15分から16時15分まで
(開場12時15分)

当日先着
1,400人
申込不要
入場無料

1 13:30~14:00 『脳卒中の予防で、認知症も予防』

東京都健康長寿医療センター

脳卒中科部長 金丸 和富

最近、動脈硬化をできるだけ予防して、脳の血管や血流を良い状態に保つことが、脳血管性認知症だけでなくアルツハイマー病の予防にも役立つことがわかってきました。生活習慣病の治療、食事や運動が大切です。



2 14:00~14:30 『認知症を治す薬はできるのか?』

東京都健康長寿医療センター研究所

神経画像研究チーム研究部長 石井 賢二

アルツハイマー病の原因の解明が進み、病気の進行を遅らせたり、発症を予防したりすることのできる薬の開発と治験が精力的に進められています。しかし、まだ良い薬は現れません。認知症は治せるのか? 予防できるのか? 現状と将来展望をお話します。



3 14:45~15:15 『認知症になっても、幸せに暮らす』

東京都健康長寿医療センター研究所

自立促進と介護予防研究チーム研究部長 栗田 圭一

認知症と共に生きるのは私たち自身であり、私たちの家族です。今、日本や世界のさまざまな地域において、官民が協働して、認知症になっても、本人も家族も、希望をもって暮らせる地域社会をつくるための活動がはじまっています。



☎ 手話通訳あり

会場

練馬文化センター
大ホール (こぶしホール)

東京都練馬区練馬1-17-37

西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線 練馬駅 北口徒歩1分



質疑応答 15:30~16:00

司会 東京都健康長寿医療センター研究所
副所長 遠藤 玉夫

主催 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

後援 練馬区

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。



主催/協賛/後援各団体のロゴを掲載しております

認知症、でも大丈夫



「認

知症」や「アルツハイマー病」という言葉を新聞やテレビなどで見聞きしない日はありません。高齢社会ではありきたりの病気です。認知症も他の病気と同様に、早く見つけることと早く治療を始めることが非常に大切なことです。今回の公開講座では当センターの認知症に関するエキスパートが、「認知症とは?」「認知症の予防につながる生活習慣は?」「認知症の予防や治療は可能か?」「認知症に早く気づくには」「認知症になったらどうすればいいのか?」などについて解説します。認知症に関する最先端の研究・治療に関する知見や、認知症になっても幸せに暮らすことが可能な社会づくりについてお話しします。

東京都健康長寿医療センター研究所
副所長

遠藤 玉夫



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <http://www.tmg Hig.jp/>